

とーときっずるーむ支援プログラム(5領域の支援方針等)

5領域別	支援方針	支援内容(一部)
健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得(食事、排泄を身に付ける等)、生活リズムの形成に向けた支援を行います。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮(感覚等)及び支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等)します。	構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援 ソーシャルスキルトレーニング(SST):身体性、精神性、社会性の習得等
運動・感覚	“緊張”“弛緩”など身体をコントロールする練習をします。運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。	指先、体の一部、全身を使い、バランス・支える・つかむ・投げる・取る・跳ぶなどの様々な動きと音・色形大きさ・言葉の組み合わせ(コンビネーション運動)等
認知・行動	特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば、把握認識が出来、円滑に行動できるかを模索し、支援します。	空間や時間等の概念の把握 天気や気温、日付の把握と確認による時間の認知形成 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ブロックや積み木などによる空間把握の認知形成 季節変化への興味などの感覚育成のための外出・行動等
言語・コミュニケーション	“要求”“報告”“聴く”“模倣”“観察する”など、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、子どもに合った方法を考え支援します。	ルールなどを絵カード等を使って視覚化 クイズ形式でヒントをよく聴くことや上手に質問する練習 確立された言語指導法などによる言語概念の形成とコミュニケーションスキルの向上等
人間関係・社会性	“順番交代”“役割”“ルールを守る”“指示に沿った行動をする”など、社会に適應する為に必要なスキルを支援します。また、集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。”挨拶““ルール”“マナー”“礼儀”“感謝”“謝罪”など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。“友人”“上下”“利害”“同盟”“協力”“対立”など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。	見立てやごっこ遊び、役割分担などのある協同遊び ルールの理解が必要な集団活動 地域施設などへの社会見学・地域交流等